

令和6年度 スポーツ施策の取組状況（重点施策）

○第3期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率 110%以上
A	〃 100%以上110%未満
B	〃 85%以上100%未満
C	〃 70%以上 85%未満
D	〃 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

令和6年5月末時点

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績(R6.5月末時点)	達成度
子どものスポーツ環境整備事業	市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数 → 34市町村 ②広域で連携した取組が展開できているエリア数 → 6エリア ③子どもの体力・運動習慣の向上 → 小中学生の男女とも全国平均を上回る	① 17市町村 ② 2エリア ③ 小中学生の男女とも全国平均を上回る	① 2市町村 ② 0エリア ③※ 12月調査結果公表	① (C) ② - ③ -

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援(4月～) 地域の現状や課題の把握、県の取組の方向性の共有(4月～5月) 市町村事業の充実に向けた市町村への働きかけ <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域スポーツハブ促進委員会(6エリア)の開催 指導者に関するアンケート調査の実施(7月～9月) 広域で連携する取組に関するアクションプランの作成(～3月) <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県スポーツコミッションによる研修会等の開催(6月～) ＜テーマ案＞ 子育て支援等から見たスポーツ指導者の育成に関する研修(例:スポハラ、ボディメンテナンス) 新たな地域スポーツ指導者の養成 ほか <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村訪問等によるヒアリング 地域のスポーツ活動への参加及び情報発信 地域におけるスポーツ指導 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援(交付決定:2市町) 市町村訪問等によるヒアリング(10市町村) <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回広域スポーツハブ促進委員会(地域における子どものスポーツ環境づくり検討会)の開催(物部川4/24、嶺北5/16、高幡5/21) <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県スポーツコミッションとの定例会(月1回開催)研修内容・集客方法の協議(5/17) <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村訪問によるヒアリング(10市町村) 地域のスポーツ団体や障害者スポーツの情報発信 障害者スポーツ体験(ゴールボール)(4/25) 嶺北地域の子どもを対象としたダンスレッスン体験会(全5回)の調整 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達のニーズが多いスポーツを行うことができる環境が十分でない地域が見られる 身近な地域に指導者がおらず、継続的な活動が立案できにくい場合がある <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な取組を企画・推進する人材の掘り起こしが必要 <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会により多くの参加が得られる工夫が必要 <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県版地域おこし協力隊(1名)が連携して取り組める市町村数に限りがある 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村ごとのニーズについて、市町村担当部署と共有し、個別に対応策を協議する ※総合型地域スポーツクラブ等と連携した体験会等の実施を検討 競技団体や近隣市町村の人材の掘り起こしや、大学生の協力を求めてスポーツ活動とのマッチングを行う <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の活用を検討する 地域の運動会など、多世代が一緒に活動できるスポーツイベントを通じた人材の掘り起こしを行う <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> R5に実施したアンケート結果や市町村ヒアリングの内容を踏まえた研修テーマを設定する <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 次年度に向けた地域おこし協力隊の増員を検討する 	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績 (R6.5月末時点)	達成度
高知県パスウェイシステム事業 (マッチングプログラム)	スポーツの楽しさを知り、スポーツに親しむ子どもを増やすため、親子で楽しむ運動プログラムや自分の運動特性を知ることができる体力測定、多様な種目の体験会などを県内各地で提供する	マッチングプログラムの参加者数 →毎年、前年比10%増の累計9,500人 (R4時点: 1,420人)	1,718人	※6月から実施	—

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)マッチングプログラム I-1:「あそびバ！」 【目的】 親子で参加する遊びを通じた運動プログラムの実施及び運動に関する知識や情報を提供するプログラム 【対象】幼児(4歳)から小学3年生 【回数】3回(東部・中部・西部) 【定員】東部・西部50組100名程度、中部70組140名程度</p> <p>I-2:「遊びの広場」 【目的】 気軽に参加でき、楽しく体を動かすことができる運動プログラム 【対象】幼児(4歳)から小学6年生 【回数】6回(東部・中部・西部・その他県内各地3回) 【定員】東部・西部150名程度、中部200名程度</p> <p>II-1:「スポーツ能力測定会」 【目的】 子ども達の新たな可能性の気づきにつなげる体力測定会 【対象】小学3年生から小学6年生 【回数】1回 【定員】200名程度</p> <p>II-2:「キッズスポーツ体験会」 【目的】 自分に合う競技を見つけることができるきっかけづくりを目的とした競技体験会 【対象】 小学3年生から小学6年生 【回数】県内各地4回以上 【定員】累計240名程度</p> <p>(2)高知くろしおキッズ ※P6に記載</p>	<p>(1)マッチングプログラム I-1:「あそびバ！」 0/3回 (-人) I-2:「遊びの広場」 0/6回 (-人) II-1:「スポーツ能力測定会」 0/1回 (-人) II-2:「キッズスポーツ体験会」 0/4回 (-人) ※参加者累計 (-人)</p> <p>◆ I-1:「あそびバ！」 ①6月15日(土):安並運動公園体育館 (-人) ②6月22日(土):東部総合運動場多目的ドーム (-人) ③6月23日(日):中芸広域体育館結いの丘ドーム (-人)</p> <p>◆ I-2:「遊びの広場」 ①11月2日(土):安並運動公園体育館 (-人) ②11月16日(土):高知市総合運動場多目的ドーム (-人) ③11月24日(日):安芸市多目的体育館安芸ドーム (-人) ④調整中 (-人) ⑤調整中 (-人) ⑥調整中 (-人)</p> <p>◆ II-1:「スポーツ能力測定会」 ①10月20日(日):高知県立青少年センター (-人)</p> <p>◆ II-2:「キッズスポーツ体験会」 ①調整中 (-人) ②調整中 (-人) ③調整中 (-人) ④調整中 (-人)</p> <p>(2)高知くろしおキッズ ※P6に記載</p>	<p>(1)マッチングプログラム ・各プログラムにおいてより多くの参加が得られるよう、周知の強化及び内容の充実が必要 ・障害のある子ども達の参加につなげる必要がある</p>	<p>(1)マッチングプログラム ・開催時期を分散化するとともに、チラシの配布やSNS、HPでの周知の強化を図る ・小中学校や特別支援学校への周知を行う ・各プログラムの目的に応じた内容を検討する</p>	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績(R6.5月末時点)	達成度
スポーツ指導者の育成及びマッチング ※障害者スポーツに関する取組は「障害者がスポーツに親しめる環境づくり」に記載	有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・確保する	①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 →200人以上/毎年 ②有資格指導者の数：R4から10%増 a:日本スポーツ協会公認指導者資格 :1,419人(R4)→1,560人 b:日本パラスポーツ協会指導員資格 :207人(R4)→227人 ③全高知チームにおける実践研修の実施 →全ての全高知チームで実践研修が行われている	①200人以上/年 ②a:1,475人 ②b:215人 ③15競技団体	①※6月から開催 ②a:－ ②b:－ ③4競技団体	①－ ②a:－ ②b:－ ③(S)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
(1)スポーツ指導者育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・大学生への意向調査の実施 ・スポーツ指導現場への大学生、企業人材の参画の仕組みづくりに向けた協議(～8月) ・高知県スポーツコミッションによる研修会等の開催(6月～) <テーマ案> 子育て支援等から見たスポーツ指導者の育成に関する研修 (例:スポハラ、ボディメンテナンス) 新たな地域スポーツ指導者の養成 ほか ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会(6月、11月) ・日本パラスポーツ協会指導員要請講習会の開催(1月～) ・グッドコーチ養成セミナーの実施 ③指導者のマッチング ・スポーツ団体や市町村等の依頼に応じて指導者を紹介(随時) ・スポーツ指導現場への大学生、企業人材の参画の仕組みづくりに向けた協議(～8月)〔再掲〕 (2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・研修会の開催(初任者研修会(7月)、県研修会(12月)) ・各地区が行う研修会等への支援(随時) ・多世代が参加するスポーツ活動に関する検討会議	(1)スポーツ指導者育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・指導者の育成等に関する高知県スポーツコミッションとの定例会(月1回開催) 研修内容・集客方法の協議(5/17) ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ※4競技が実施(5月末) ・グッドコーチ養成セミナーの実施(5/11) ※受講者:2名 ・ダンス指導研修会の調整(高知県女子体育指導者の会5/13) (2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・高知県スポーツ推進委員連絡協議会総会(5/14)	(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・競技団体へ登録している有資格指導者だけでは、地域のスポーツ活動をサポートすることは難しい。 ②指導者の育成 ・各種研修により多くの参加が得られるようにすることが必要 (2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・各地区のスポーツ推進員が核となつて行う研修会の実施件数が少ない	(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・保護者や競技団体に登録していない地域の人材を対象とした研修や体験会を実施する ②指導者の育成 ・事前周知を徹底する (2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・各地区ごとの研修会の実施に向けて地域のスポーツニーズ等の情報提供や具体的な研修内容の提案を行う	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績(R6.5月末時点)	達成度
障害者スポーツ推進事業	障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る	①障害者がスポーツ活動ができる団体数 → 37団体 ②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数 → 6エリア ③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数 → 25人 ④中央競技団体への登録者数 → 220人 ⑤誘致した大会数(R5からの累積数) → 5 ⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数 → 227人	① 31団体 ② 3エリア ③ 10人 ④ 204人 ⑤ 3 ⑥ 215人	① 27団体 ② 1エリア ③ 0人 ④ 年度末に集計 ⑤ 1 ⑥ 217人	① (S) ② (S) ③ - ④ - ⑤ (S) ⑥ (A)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)障害者スポーツの活動支援 <県立障害者スポーツセンターを核とした取組> ①地域のスポーツ活動と障害当事者のマッチング ②パラスポーツ指導員の養成 ・中級パラスポーツ指導員養成講習会への派遣(7月) ・初級パラスポーツ指導員養成講習会の実施(11月) ③全国障害者スポーツ大会 ・全国障害者スポーツ大会への派遣(10月/佐賀県) ・中四国ブロック大会への派遣(4月~6月) ④高知県障害者スポーツ大会 ・大会の開催(5月、6月、10月) ⑤障害者スポーツの情報発信 ・障害者スポーツセンターのHPによる教室や大会情報の発信 ⑥障害者スポーツの理解啓発 ・県版地域おこし協力隊による障害者スポーツ体験の紹介</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ①障害者の活動の受け皿づくり ・新たなスポーツサークルの立ち上げ支援 ・既存の地域スポーツクラブにおける障害者の受け入れ促進 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・大阪体育大学と連携した若者への障害者スポーツの普及(8月) ・障害者と健常者が参加する車いすラグビー大会の開催(12月) ・インクルーシブなスポーツイベント(JAMフェスタ)の開催(12月) ③リモートを活用したスポーツ機会の提供 ・PERF株式会社と連携したリモートによるダンス指導 ④市町村が行う障害児のスポーツ活動の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援 ⑤障害者スポーツ大会や合宿の誘致 ・競技団体等と連携した大会・合宿の誘致活動</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①有望選手の発掘・育成 ・日本パラ陸上競技連盟との連携による、パラアスリート発掘・育成に係る大会・記録会の開催 ②全国や世界を目指す強化活動支援 ・特別強化選手や強化助成選手の活動への支援</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 ④高知県障害者スポーツ大会の開催(5/26 申込み者数:637名)</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ②障害者スポーツ推進プロジェクト事業(国事業)への申請(5月) ・車いすラグビーを主としたインクルーシブなスポーツイベントの開催</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①日本パラ陸上競技連盟との連携に係る協議(5/7) ②特別強化指定選手の選定(S指定:5名、A指定:7名) 県内で活動する団体・個人に対する強化費の助成(4月~)</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 ①県内全域の障害者のスポーツ活動をサポートを充実させる必要がある</p> <p>④高知県障害者スポーツ大会をはじめ、障害者のスポーツ大会への参加機会の拡充を図ること必要</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ①新たなサークルや既存クラブへの障害者の参加を増やす手立てが必要</p> <p>②インクルーシブな取組を継続して行うことができることを見据えた事業展開が必要</p> <p>④市町村における障害児のスポーツ活動が少ない</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①発掘後に継続して選手をサポートする環境づくりが必要</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 ①地域において障害者のスポーツ活動を支援できる人材の確保を検討する</p> <p>④障害者スポーツ大会の在り方を検討する場を設定し、障害当事者の意見を幅広く伺いながら、協議する</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ①障害者が活動できる場について、新たなサークルや地域スポーツクラブ等と連携して情報を発信する</p> <p>②インクルーシブな取組において、県内企業や地域人材、競技団体等の協力を得て展開する</p> <p>④市町村の実情に応じて障害児のスポーツ活動を提案する</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ・対象者の実情に応じて、競技団体や地域スポーツクラブ等に協力を求め、継続的に活動・支援ができる体制をつくる</p>	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績 (R6.5月末時点)	達成度
競技力向上に向けた強化事業	競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医科学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる	①全国中学校体育大会の入賞競技数 → 9競技 ②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数 → 15競技 ③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 → 30競技団体 ④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数 → 25人	① 8競技 ② 12競技 ③ 24競技団体 ④ 10人	①※ 8月開催 ②※ 8月開催 ③ 4競技団体 ④ 0人	① — ② — ③ (A) ④ —

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> RPDCA（進捗管理シート）による各競技の実状に応じた、育成・強化（全競技） 全高知チームによる重点強化（15競技） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 水泳、陸上、サッカー、柔道、剣道、ラグビー、レスリング、ソフトボール、卓球、ライフル射撃、バドミントン、カヌー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール </div> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化選手を認定した重点強化 国民スポーツ大会四国ブロック大会への派遣 国民スポーツ大会への派遣 <p>(2)競技団体等における適切な組織運営の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技団体やスポーツ少年団における組織運営への支援（通年） コンプライアンスの遵守 ガバナンスコードに基づく運営 ※ガバナンスコード：スポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すもの <p>(3)スポーツ医科学の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※P6に記載 <p>(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 有望選手の発掘・育成 日本パラ陸上競技連盟との連携による、パラアスリート発掘・育成に係る大会・記録会の開催 全国や世界を目指す強化活動支援 特別強化選手や強化助成選手の活動への支援 <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県アスリート等無料職業相談所の開設 アスリート等就職支援バンクへの登録 キャリア支援専用WEBサイトの開設 <p>(6)オリンピック・パラリンピックの機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県関係者の情報発信 壮行会やパブリックビューイングの協力・実施 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> RPDCAシート初期分提出（4月・全40競技団体） 全高知チームによる強化練習（4月～） 特別強化選手の認定：10名 <p>(2)競技団体等における適切な組織運営の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ団体に対してガバナンスコードについて説明（4月～5月） <p>(3)スポーツ医科学の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※P6に記載 <p>(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本パラ陸上競技連盟との連携に係る協議（5/7） 特別強化指定選手の選定（S指定：5名、A指定：7名） 県内で活動する団体・個人に対する強化費の助成（4月～） <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県アスリート等無料職業相談所の開設に向けた準備（4月～） アスリートや指導者、企業に対するアンケートの実施（5月～6月） <p>(6)オリンピック・パラリンピックの機運醸成</p> <p><代表内定/5月31日現在></p> <ul style="list-style-type: none"> ○オリンピック（大会期間：7/26～8/11：11日間） 櫻井つぐみ（レスリング）、清岡幸太郎（レスリング） 里見真理子（ビーチバレー審判員） ○パラリンピック（大会期間：8/28～9/8：12日間） 藤原大輔（バドミントン）、小松沙季（カヌー） 鬼谷慶子（陸上円盤投げ座位） 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体において、国民体育大会「四国ブロック大会」及び「本大会」に向けた計画的な強化が必要 <p>(4)全国や世界を目指す選手の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 発掘後に継続して選手をサポートする環境づくりが必要 <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> アスリートや指導者、受け入れ企業等のニーズを捉えた情報発信が必要 <p>(6)オリンピック・パラリンピックの機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会に出場する本県関係者の応援の機運を高めるため、大会や選手の周知が必要 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技団体との連絡・調整及び育成・強化活動の進捗管理の徹底 <p>(4)全国や世界を目指す選手の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者の実情に応じて、競技団体や地域スポーツクラブ等に協力を求め、継続的に活動・支援ができる体制をつくる <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を踏まえて、今年度中に立ち上げるキャリア支援専用WEBサイトの内容や運用方法を検討 競技団体の会議や高知県企業スポーツ推進協議会の機会を捉えて周知 <p>(6)オリンピック・パラリンピックの機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 県ホームページやSNS等のほか、県内企業にも協力を得て、選手のプロフィールや試合日程を広く周知する 関係者と連携・協力して壮行会や大会期間中のパブリックビューイングの実施について検討する 	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績(R6.5月末時点)	達成度
スポーツ医科学の活用	スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを実施する	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 → 30競技団体 ②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 → 200人以上/毎年 ③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数 → 35人	① 24競技団体 ② 200人以上/年 ③ 26人	① 4競技団体 ② ※6月から実施 ③ 10人	① (A) ② - ③ (S)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施 ③体力測定の実施 ④各種サポートの実施 (コンディショニング、栄養、メンタル、映像) ⑤メディカルチェック事業 ・各競技の強化選手等への内科的・整形外科的検診 <p>(2)研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①競技団体指導者・医科学コーディネーター等研修(2回) ②地域の指導者やスポーツ拠点のスタッフへの研修(5回以上) ③SSCサポートスタッフ研修(8回) <p>(3)研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ホームページによるスポーツ医科学情報(動画を含む)の発信 ②ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)ネットワーク連携機関(体力測定)によるHPSCとの連携 ※HPSC 国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターが持つスポーツ医・科学、情報等による研究、支援及び高度な科学的トレーニング環境を提供する組織 <p>(4)高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ②年間2回の実施(7月、3月) 	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①R6強化策活用競技団体：23競技団体(29競技種別) ・年間計画作成完了(4/19) ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施(4月～) ③体力測定の実施(体力測定合計185人) 【月別利用人数】 4月(72人) 5月(113人) 【測定別利用人数】 一般体力測定(19人) 専門体力測定(166人) ④各種サポートの実施(サポート合計443人、125回) 【月別利用人数】 4月(309人) 5月(134人) 【サポート種別利用人数】 コンディショニング 334人(108回) 栄養 41人(9回) メンタル 39人(5回) 映像 29人(3回) ⑤メディカルチェック事業 受診希望者数(469人) ※5月1日より受診開始 (受診人数は6/10から毎月1回確認) <p>(3)研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Instagramを活用して広報活動を実施(4月～) ②SSC利用者に対してQRコードを活用したアンケートの実施(4月～) 	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成して計画的にSSCを活用する競技団体をさらに増やすことが必要 ・活用する競技団体において、利用の頻度やサポート内容の増加が図られ、より効果的な活用ができるよう支援することが必要 	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体の実情に応じて、利用しやすい計画の作成支援などを行う ・個々の選手の実情を踏まえ、必要に応じて、新たなサポートの提案等を行う 	

重点事業の進捗状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績(R6.5月末時点)	達成度
高知県パスウェイシステム事業 (高知くろしおキッズ)	県内の運動能力に優れた小学生を発掘し、さらに運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来有望な選手を発掘・育成し、県内の競技団体につなげる	高知くろしおキッズに応募する子どもの数 → <u>200人</u>	167人	※10月募集開始	—

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)マッチングプログラム ※P2に記載</p> <p>(2)高知くろしおキッズ R6在籍者数：4年生23名 5年生30名 6年生24名 計77名</p> <p>◆育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①トレーニングプログラム(4回) ②競技プログラム(15回程度) ③知的プログラム(4回) ④合宿プログラム(全学年1回)(6年生のみ1回) ⑤スペシャルプログラム(1回) <p>◆特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①四国交流プログラム(5年生のみ) ※R6は香川県で実施予定 <p>◆チャレンジ選考会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①チャレンジ1(3回) ②チャレンジ2(1回) <p>◆その他のプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認定式(4/28) ②修了式(3/9) ③保護者プログラム <p>◆その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用) ②育成プログラムの充実を図る取組 <ul style="list-style-type: none"> ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供 ・プログラム検討会の実施 ・現キッズ、修了生、保護者へのアンケートの実施 	<p>(1)マッチングプログラム ※P2に記載</p> <p>(2)高知くろしおキッズ</p> <p>◆育成プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①トレーニングプログラム(1/4回) <ul style="list-style-type: none"> ・SAQ(4/28) ②競技プログラム(3/15回) <ul style="list-style-type: none"> ・4年生(1回)(トランポリン) ・5年生(1回)(トランポリン) ・6年生(2回)(ライフル射撃・ラグビー) ③知的プログラム(1/4回) <ul style="list-style-type: none"> ・ペップトーク(4/28) <p>◆その他のプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認定式(4/28) ③保護者プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養学、ペップトーク(4/28) <p>◆その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用)(週1回程度実施) ②育成プログラムの質の向上(各プログラム後実施) <ul style="list-style-type: none"> ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供(随時) 	<p>(2)高知くろしおキッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのキッズの能力の向上に向けて、効果的な運営やプログラム内容の充実を図ることが必要 ・年間を通してキッズのモチベーションを高める工夫が必要 	<p>(2)高知くろしおキッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師とプログラム内容や進行などに関する事前確認を徹底するとともに、プログラム検討会において内容の検証・検討を行う ・毎回のプログラムの振り返りや活動の様子を複数のスタッフで確認しながら、キッズの意識の変化を捉えて、アプローチの仕方や方法を工夫する 	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績 (R6.5月末時点)	達成度
プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致	プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	1 スポーツによる県外からの入込客数：12万人 【内訳】 ① プロのキャンプ・大会 : 8万人 ② アマチュアスポーツ合宿 : 1万人 ③ スポーツ大会 : 3万人 2 地元プロチーム等のホーム戦の県内外からの入込客数 高知FD : 1.2万人 高知USC: 3万人 (@2千人)	1 : 7万人 【内訳】 1-① : 4.5万人 1-② : 0.7万人 1-③ : 1.8万人 2 : 高知FD : 1万人 高知USC : 3万人 (@2千人)	1 : 33,651人 【内訳】 1-① : 19,625人 1-② : 2,458人 1-③ : 11,568人 2 : 高知FD : 3,217人 高知USC : 5,639人 (@940人)	1 : (S) 【内訳】 1-① : (S) 1-② : (S) 1-③ : (S) 2 : FD : (S) USC : (D)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
(1) プロ・トップチームの誘致等 ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・KVCAや市町村と連携した誘致活動や受入体制の強化 ② 新規チームの誘致 ・KVCAやスポーツコミッション、競技団体等と連携した新たなチーム・種目の誘致 ③ 自転車ロードレース大会の誘致 ・市町村等と連携した新たな自転車競技大会の誘致 (JCLはR6年から活動休止) ④ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増に向けた委託業務 ・チームと連携した「どっぶり高知旅」のPR等 (2) アマチュアスポーツの誘致 ① 合宿・大会の誘致 ・KVCAや競技団体等と連携した既存チームの誘致 ・旅行会社(スポーツ専門)と連携した誘致 ・他部局、県外事務所と連携した誘致 ・大阪体育大学との連携協定に基づく当大学のクラブやOB・OG所属チームの誘致 ② スポーツ大会の開催支援 ・市町村等へのKVCAの助成制度の周知 ・「スポる!kochi」による情報発信(開催案内等) (3) その他 ・KVCAとの戦略会議(毎月) ・スポーツツーリズムによる経済効果の算出・公表	(1) プロ・トップチームの誘致等 ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・オリックス (高知市長トップセールス・高知フェア開催 4/24) ・西武ライオンズ (濱田知事トップセールス・高知フェア開催 4/30) ・カシオゴルフ (濱田知事トップセールス 5/20) ・阪神タイガース (安芸市長トップセールス 5/25) ・花園近鉄ライナーズ (9月高知合宿を誘致中 協議6/10) ・受入体制の充実に向けた市町村等との協議(4月 高知市、安芸市) ② 新規チームの誘致 ・男子バレーボール「広島JTサンダース」(提案予定) ・プロダンス「セプテーニラプチャーズ」(提案済み) ③ 自転車ロードレース大会の誘致 ・全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)及び宿毛市と協議(6/5) ④ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増等に関する委託業務締結(4/1) ・庁内販売(4月)、庁内放送(随時) ・高知USCのJ3昇格に向けた支援(4月～) (ホームグラウンド施設整備、応援する会設置準備等) ・高知USCアウェイ戦(東京)で観光PR等(6/22) (2) アマチュアスポーツの誘致 ・合宿リピーターの確保・誘致 (KVCAから過去3年に合宿助成金利用団体へメール案内)(6月) ・旅行会社(スポーツ専門)訪問(6月～) ・県内スポーツ協会や就職支援協定締結大学への助成情報の案内 ※ 助成金実績(R6.1月～5月:実績58件) (R5.1月～12月:実績87件) (R4.1月～12月:実績99件) (3) その他 ・KVCAとの戦略会議(4月～) ・R5年のスポーツツーリズムによる経済波及効果の公表(6月)	(1) プロ・トップチームの誘致等 ・プロキャンプ観戦者の増加に向けた受け入れ体制の充実 ・スポーツ施設の老朽化 ・宿泊施設の確保 ・実施時期の分散化 ・関係機関との連携強化 ・情報発信の強化 (2) アマチュアスポーツの誘致 ・スポーツ施設の老朽化 ・宿泊施設の確保 ・誘致種目の多様化 ・実施時期の分散化 ・関係機関との連携した誘致活動の強化 ・情報発信の強化	(1) プロ・トップチームの誘致等 ・キャンプ会場での飲食ブースの拡充や観光PRの強化(市町村、観光協会との連携強化) ・施設管理者等との改修に向けた協議の継続 ・旅館組合等との協議の継続 (2) アマチュアスポーツの誘致 ・集落活動センター等を活用した中山間地域で宿泊施設の確保 ・KVCAや市町村、関係機関と連携した戦略的な誘致活動の実施 ・スポる!kochiや関係機関等と連携した情報発信の強化	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績 (R6.5月末時点)	達成度
地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進	地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	1 スポーツによる県外からの入込客数： <u>12万人</u> 2 「スポる！KOCHI」のセッション数： <u>7.3万セッション以上</u>	1： <u>7万人</u> 2： <u>7.3万セッション以上</u>	1： <u>33,651人</u> 2： <u>15,264セッション</u>	1：(S) 2：(S)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KVCAや市町村と連携した開催支援（助成金、情報発信） ・「スポる！KOCHI」による情報発信 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルツーリズム推進検討会の開催 ・ぐるっと高知サイクリングロードのPR（展示会出展等） ・サイクルオアシス登録店の拡充（サイクルスタンド、空気入れ、ノボリ設置） ・四国4県連携（1,000kmチャレンジの推進） ・セトウチヴェロの協議会（中四国連携） ・「スポる！KOCHI」による情報発信（体験記、コース紹介等） <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な大会運営 ・定員1万人（フルマラソン）の確保等 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、広域観光協議会への周知（4月～）（助成制度、スポる！kochi） ・「どっぷり高知旅」と連携した推進施策の協議（4月～）（部内、観光協会等） <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セトウチヴェロ トライアルライドinいの町（4/10） ・サイクリングアイランド四国会議（5/17） ・セトウチヴェロ担当者会議in今治（5/20） ・台湾インフルエンサー招聘（5/25-28）（仁淀ブルーライド参加、観光スポット・サイクルコース撮影） <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人枠設定（150名） ・台湾の旅行会社へチャーター便利用マラソンツアー造成を提案（4月～）（30人のツアー造成で合意） ・香港の観光レップとの協議（5月～）（今後、旅行会社等へ提案） ・高知県社交業組合への提案（4月～）（大会当日「夜もほろ酔いマラソンドリンクラリー」開催で合意） ・有識者会議の設置（大会の魅力向上、あり方検討等）（4月～）（計5回開催）（メンバー：トーエネック監督、関西外大教授、土佐AC監督等） ・第1回高知龍馬マラソン総会（6/17予定） ・アンテナショップ「とさとさ」でのPR（8月上旬予定） 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の担い手の確保 ・情報発信の強化 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの対応（サイクルガイド養成）（どっぷり高知旅と連携）（MAP・看板の多言語化等） <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の過剰供給、ランナー人口減少による地方大会の参加者が減少 ・人件費や物価の高騰に対応した運営費の確保（参加者や協賛企業の確保） ・持続可能性の担保（ボランティアの確保等） 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等との連携強化 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルツーリズム検討会の設置（産学官で構成、戦略策定、インバウンド対応等） ・関係機関との連携強化 ・観光庁の補助金等の紹介 <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内、関係機関と連携した参加者及び協賛企業の確保 ・海外エントリー増に向けたセールス活動 ・県内のランニング団体と連携したランニングセミナー連続開催による新規ランナーの掘り起こし 	

重点事業の取組状況確認資料(令和6年度5月末時点) 【施策の柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和6年度末の目標値	実績 (R6.5月末時点)	達成度
スポーツを通じた国際交流	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受け入れにより、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	海外とのスポーツ交流が継続的に行われている。	-	-	-

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールスポーツスクールの受入 (8月) <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際大会等の関係機関からの情報収集 ・競技団体と連携した誘致活動 ＜チェコ＞ <ul style="list-style-type: none"> 高知県カヌー協会との交流 高知県ソフトボール協会との交流 (4月～5月) ＜オーストラリア＞ <ul style="list-style-type: none"> 高知県ソフトボール協会との交流(8月) 	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流</p> <ul style="list-style-type: none"> シンガポールスポーツスクール (中高生) の選手団受入 ・受託事業者との契約 (5/24) ・関係者との協議・調整 (4月～) ・選手団 (バドミントン、卓球) の受け入れ (8/19～25予定) <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ラグビーフットボール協会への申請 (8月予定) (日本代表vsトンガ代表の国際試合公式戦誘致) ・チェコソフトボールチームの受け入れ (23名、春野総合運動公園、4/27～5/5) 	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入体制の充実 <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 ・相手国とのパイプ役、キーパーソン等の確保 	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携強化 ・スポーツだけでなく他分野での交流促進 <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集の強化 	